

日付	分科会・タイトル	担当委員	ゲスト	紹介文
12/16 (土)	16-1 [資料保存] 公害資料の活用	清水善仁(法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ) 小田康徳(西淀川・公害と環境資料館)	尼崎市立地域研究史料館、西淀川・公害と環境資料館	公害の記憶を未来に伝えるために、公害資料はどのように活用されるべきなのでしょう。尼崎市立地域研究史料館における地域ボランティアの活動、および西淀川・公害と環境資料館における公害裁判資料の整理と活用の取り組みを通して考えます。
	16-2 [学校] 公害と差別を考える	高田研(都留文科大学) 安藤聡彦(埼玉大学) 畑中一成(大阪市人権教育研究協議会)	古川正博((公社)全国人権教育研究協議会事務局次長) 小玉敏也(麻布大学、(一社)日本環境教育学会、元埼玉県公立小学校教員)	原発事故の被害者が差別にあう現実があります。公害を知ったこと／にふれたことで忌避意識が生まれることがあります。公害教育が直面する差別の問題をどう考えればよいのでしょうか。人権教育の取り組みから学びます。
	16-3 [地域づくり] 公害患者が望む「公害の教訓」の活かされ方とは	除本理史(大阪市立大学) 川中大輔(龍谷大学)	森脇君雄(西淀川公害患者と家族の会長)	西淀川公害裁判の特徴は公害患者からの「地域再生」の提案でした。あおぞら財団設立から20年の時を経て、公害患者は現状をどうみているのでしょうか。公害患者と行政の双方から話を聞いて、公害地域再生について考えます。

12/17 (日)	17-1 [公害入門] 日本の公害環境問題の克服と裁判の役割	小田康徳(西淀川・公害と環境資料館) 西村仁志(広島修道大学)	村松昭夫(あおぞら財団理事長、大阪西淀川公害訴訟弁護団、大阪アスベスト弁護団団長)	工業都市だった大阪では、さまざまな公害が発生しました。西淀川で起きた大気汚染と、泉南アスベスト被害の訴訟で中心的な役割を果たした村松昭夫弁護士から、日本の公害裁判についてお話しいたできます。
	17-2 [語り部] 語り部からの学びを深める	北村美香(結creation) 吉永利夫(ミナコレ) 安藤聡彦(埼玉大学) 高田研(都留文科大学) 畑中一成(大阪市人権教育研究協議会)	松永真純(大阪教育大学非常勤講師)、西淀川公害患者と家族の会	公害資料館の多くは、展示見学と「語り部」の話を聞くことを学習の基本としています。では、「語り部」の話を聞くことを深い学びの機会とするためには、どのような工夫が必要なのでしょう。「語ること」「語り部を聞くこと」「語る場をつくること」の意味を考えます。
	17-3 [企業] 企業とともに公害の経験を伝える	除本理史(大阪市立大学)、清水万由子(龍谷大学) 五十嵐実(日本自然環境専門学校)	菱山隆二(企業行動研究センター所長)	企業の中で公害経験はどのように共有されているのでしょうか。現在はISO26000など企業の社会的責任(CSR)に関する仕組みも整っています。原因企業のヒアリングを通して現状と課題について考えます。

フィールドワーク

12/15 (金)	① 西淀川コース【定員30名】 (あおぞら財団案内)	国道43号の環境対策、淀川、千北診療所、あおぞら苑、大野川緑陰道路、西淀川・公害と環境資料館見学、公害患者のお話
	② 尼崎コース【定員25名】 (あまけん、尼崎市立地域研究史料館案内)	赤とんぼセンター(公害患者のお話)、杭瀬団地、国道43号の環境対策、元浜緑地、チャンネルベース、21世紀の森、尼崎市立地域研究史料館見学

西淀川と尼崎の大気汚染について

大阪市西淀川区と兵庫県尼崎市は、県境の神崎川を挟んで位置しています。阪神工業地帯の中心である尼崎や大阪市此花区は大企業の工場が立地していますが、その狭間の西淀川区は中小企業が多いという違いがあります。しかし、共に工場からの排煙とトラックからの排気ガスによる大気汚染に苦しみ、公害認定患者が別々に公害裁判を提訴しました。裁判は、原告公害患者の勝利和解となりました。西淀川では公害患者による公害地域再生の提案が被告に受け入れられ、尼崎では判決にて道路の差し止めが認められました。それぞれの特徴を生かした公害再生が試みられています。

申し込み先: **第5回公害資料館連携フォーラム in 大阪** 実行委員会事務局/公害資料館ネットワーク事務局
 公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団) 担当: 林、栗本 〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階 TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
 (申し込みメールアドレス) kougaishiryoukan+forum@gmail.com

氏名	(ふりがな)	TEL	
所属		FAX	
住所	〒	メールアドレス	
フォーラム参加ご希望の分科会名と番号 (人数調整あり)	16日	第1希望	第2希望
	17日	第1希望	第2希望
		15日フィールドワーク参加申込 3,500円	① ②
		交流会 4,000円	申込する 申込しない

※個人情報は公害資料館ネットワークにて厳重に管理し、イベントの連絡以外の目的では使用いたしません。

申し込み
QRコード



連携
企画

【水平社博物館】

〒639-2244 奈良県御所市柏原235-2

第18回企画展「公害認定から50年 水俣病は終わっていない」

期間 2017年12月4日(月)～2018年4月8日(日)